

◆アートマネジメント人材育成講座◆

アートを介した市民参加のデザイン

東京都美術館が実施するアート・コミュニケーション事業の基盤を支える、「とびらプロジェクト」(東京都美術館と東京藝術大学の連携事業)を担当されているお二方を講師に招き、ボランティア人材の活用を中心とした内容の講座を2日間の日程で実施いたします。

2016年

日時

10月30日(日) 12:30~18:00

10月31日(月) 9:00~12:30

会場

札幌市教育文化会館 研修室(3階)

(住所:札幌市中央区北1条西13丁目)

講師



伊藤 達矢 氏

東京藝術大学 美術学部 特任准教授
とびらプロジェクト / Museum Start
あいうえのプロジェクトマネージャ

2009年東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了(博士/美術教育)。福島県で行われている文化による復興支援事業である「森のはこ舟アートプロジェクト」ディレクターをはじめ、数々のアートプロジェクトを手掛け、地域社会とアートを結びつける活動に従事する。現在、アートを介したオープンで実践的なコミュニティの形成を目指すプロジェクト「とびらプロジェクト」のプロジェクトマネージャーを務める。



稲庭 彩和子 氏(予定)

東京都美術館 学芸員
アート・コミュニケーション担当係長

青山学院大学大学院修士修了(日本美術史)、ロンドン大学(UCL)大学院修士課程修了(美術館学)。東京国立博物館に非常勤勤務の後、神奈川県助成を得てイギリスの大英博物館日本部および教育部で職業研修。神奈川県立近代美術館にて地域と連携したアートプロジェクトや、鑑賞キット「Museum Box 宝箱」の企画および展覧会を担当。2011年より現職。共著に『100人で語る美術館の未来』(慶應義塾大学出版会、2011)など。

内容

1日目:「札幌におけるアートコミュニケーターの可能性」聴講
アイス・ブレイク及びグループワーク導入

2日目:グループワーク及び発表

詳細は裏面を参照ください

申し込みについて

定員 30名(先着・事前申込制) 参加費 一般 1,000円(税込) 学生 無料

10月25日(火)までに ①氏名 ②年齢 ③所属 ④連絡先
⑤この講座に期待すること

を記入の上、市民交流プラザ開設準備室文化芸術交流センター事業課(am@sapporo-community-plaza.jp)までお送りください。折り返し担当からご連絡を差し上げます。

主催:市民交流プラザ開設準備室(札幌市芸術文化財団) お問い合わせ先

後援:札幌市 北海道(公財)北海道文化財団

市民交流プラザ開設準備室 文化芸術交流センター事業課

住所 札幌市中央区北1条西2丁目札幌時計台ビル10階

TEL 011-242-5800 HP <http://sapporo-community-plaza.jp/>

10月30日(日)プログラム

13:30~15:40 札幌市教育文化会館 研修室305

アートボランティアのためのシンポジウム

「札幌におけるアートコミュニケーターの可能性」

第1部

基調講演

「文化芸術の公共性と市民参画」

講師 片山 泰輔 氏 (静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科長)

基調報告

「文化施設を拠点とした、アート・コミュニケータの働きについて」

講師 稲庭 彩和子 氏 (予定) 伊藤 達矢 氏

第2部

パネルディスカッション

「札幌におけるアートコミュニケーターの可能性」

パネリスト 片山 泰輔 氏 稲庭 彩和子 氏 伊藤 達矢 氏

山田 修市 (市民交流プラザ開設準備室 文化芸術交流センター事業課長)

進行 北村 清彦 氏 (北海道大学大学院文学研究科 教授)

グループワーク概要

30日 シンポジウム聴講後

◎レクチャー&アイス・ブレイク

◎ワールド・カフェ

アートを介した市民参加のデザインについて、ワールド・カフェと呼ばれる話し合いの手法を通して、理解を深めます。ワールド・カフェとは「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づいた話し合いの手法です。

31日

◎グループワーク

なぜ、今、文化施設にとって市民参画が必要なのでしょう？

また、市民参加を実現できる仕組みや、合意形成の仕方について、とびらプロジェクトの例を参考にしながら、みんなで共に考えます。